



Better Health, Brighter Future

会社名 武田薬品工業株式会社
代表者 代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバー

(コード番号 4502 東証プライム市場)

報道関係問合せ先 グローバル コーポレート アフェアーズ
齊藤潤 03-3278-2325

E-mail: jun.saito@takeda.com

Statement

2024年5月9日

取締役オリビエ・ボユオン氏の逝去について

当社社外取締役であるオリビエ・ボユオン氏が、2024年5月5日に逝去されましたので、謹んでお知らせいたします。ボユオン氏は、2019年1月に当社取締役に就任し、報酬委員会委員を務めておられました。

当社代表取締役社長 CEO のクリストフ・ウェバーは、「長年にわたり取締役を務めてこられたオリビエ・ボユオン氏の逝去を大変残念に思います。オリビエは2015年にシャイアーの取締役に就任し、買収を通じて当社の取締役に就任されました。在任中は、当社経営陣の多くのメンバーとともに働き、尊敬され、思いやりのあるリーダーでした。彼の死は彼を知る幸運に恵まれたすべての人々から惜しまれることでしょう。私たちはオリビエのご家族とご友人に深く哀悼の意を表します」と述べています。

当社は、ボユオン氏を含め、2024年6月26日に開催予定の第148回定時株主総会に提案する監査等委員でない取締役の候補者11名について、2024年3月27日付けで公表[※]しておりました。当社取締役会は、本日、新たな候補者を選定せず、ボユオン氏を除く監査等委員でない取締役の候補者10名の選任を来る総会に諮ることを決定しました。なお、監査等委員である取締役の候補者4名については、変更ありません。

[※] 2024年3月27日付「第148回定時株主総会に提案する取締役候補者について」をご参照ください。

<武田薬品について>

武田薬品工業株式会社 ([TSE: 4502/NYSE: TAK](https://www.takeda.com/jp/)) は、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献することを目指しています。消化器系・炎症性疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー(がん)、ニューロサイエンス(神経精神疾患)、ワクチンといった主要な疾患領域および事業分野において、革新的な医薬品の創出に向けて取り組んでいます。パートナーとともに、強固かつ多様なパイプラインを構築することで新たな治療選択肢をお届けし、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。武田薬品は、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー(価値観)を根幹とする、研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。2世紀以上にわたり形作られてきた価値観に基づき、社会における存在意義(パーパス)を果たすため、約80の国と地域で活動しています。詳細については、<https://www.takeda.com/jp/>をご覧ください。

<重要な注意事項>

本注意事項において、「ニュースリリース」とは、本ニュースリリースに関して武田薬品工業株式会社(以下、「武田薬品」)によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本ニュースリリース(それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます)は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意

図しておりません。本ニュースリリースにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本ニュースリリースは、(投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく) 情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で(受領者に対して提供される追加情報と共に) 提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本ニュースリリースにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社(we、us 及び our)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

以上